

□ 学校ビジョンの実現に向けて

◇「絵に描いた餅」で終わらせない

平成22年の4月に校園長の皆さんに「学校ビジョンを作ってください」とお願いした時には、「どのようなものを作ればいいのか」というような質問がありました。それから4年が経過し、今年度学校園から提出いただいた学校ビジョンに目を通すと、目指す学校像、目指す子ども像、それを育てていく目指す教師像や取り組む内容がしっかりと描かれています。私は、学校ビジョンを作り上げることに満足するのではなく、作成した学校ビジョンをどのように実現していくか、あるいはどう実践していくかが最も大切であり、それが最終的な目的だと考えています。

校園長先生にはビジョンをどう実践していくかを常に考えた学校経営を行ってほしいと思います。

◇ホームページを活用した広報を



【ひめゆりの塔の前で祈る中学生】

ある学校が、修学旅行中の様子をホームページを活用してリアルタイムに広報したところ、1日に500件、3日で1500件のアクセスがあったと聞きました。保護者からは「修学旅行の様子がよく分かる」という声があったそうです。これはホームページの更新回数が多いほど、見ようとする人の関心が高まることを示しています。現に昨年度、ホームページの更新回数が実に年間1336回と

最も多かったあやめ池小学校へのアクセス回数は、月平均約3500件に上っています。その他にも年間1000回前後ホームページを更新している学校園も数多く見られ、それに比例して学校へのアクセス数も多いという結果が出ています。タイムリーにホームページを更新し、学校ビジョンやその進捗状況を保護者や地域の方に分かりやすく広報することが大切です。



【現地でのドラゴンボート体験】

◇各学校の学校ビジョンから

(1) ホームページの活用

ホームページを活用して学校ビジョンを広報している学校を紹介します。京西中学校のHPには、このような学校ビジョンの説明があります。



【京西中学校ホームページより】

「学校評価として、保護者や生徒等を対象に実施したアンケート調査結果を参考にしながら、京西中学校の教育の方向性としての『学校ビジョン』をまとめました。『学校ビジョン』の中には、教育目標や目指す学校像・生徒像・教師像、また今年度の重点的な実践課題等を示しています。」

このように、保護者や市民に、学校ビジョンが何であるのかを分かりやすく説明することが大切だと思います。

目指す学校像（スローガン）

一人一人が輝き、笑顔や夢があふれる学校に

目指す生徒像

自ら考え、学び行動する生徒
思いやりや感謝する心を持つ生徒
自他の命や体を大切にす生徒

重点課題

学力向上 指導法の改善 きめ細かな指導 少人数授業 学習習慣の確立 基礎・基本の習得	豊かな人間性 朝読書の実施 特別支援教育の充実 人権・福祉教育の推進 道徳教育の充実 キャリア教育推進 職場体験の実施 先輩に学ぶ	たくましい心身 食育の推進 保健体育の充実 サーキット マラソン なわとび ランニング 部活動の推進	奈良らしい教育 世界遺産学習 豊給で培く奈良 奈良英語ガイド活動
--	---	--	--

【二名中学校 学校ビジョンより】

(2) 「重点課題」を明確に示す

二名中学校は、「一人一人が輝き、笑顔や夢があふれる学校に」という目指す学校像（スローガン）を掲げ、「学力向上」「豊かな人間性」「たくましい体」「奈良らしい教育」に重点的に取り組んでいることが分かります。

(3) 「具体的な手立てと達成目標」を示す

青和小学校は、「知・徳・体・夢・誇」の項目ごとに取り組む内容を具体的に示すとともに、ビジョンの実現に向けた手立てや達成目標を「そのために」という欄に明確に示しています。

紹介した二名中学校の杉岡校長、青和小学校の澤田校長に、ビジョンの具体的な作成や今後の取組について少しお話ししてもらいます。

三つの「あい」で生き生きと笑顔のあふれる学校をめざします		そのために
知	<ul style="list-style-type: none"> ・ 初学習による基礎基本の徹底 ・ 研究主題 豊かな表現力（伝え合う力）の育成 話す・聞く力の育成 ・ 子どもを知を支える教師力の育成 ・「わかる授業」の奨励 	<ul style="list-style-type: none"> ● 若手教員への授業支援及び研修の実施 ● 教員向け校長通信の発行
徳	<ul style="list-style-type: none"> ・ 異年齢集団活動の実施 1・2年生の交流活動 1年生と幼稚園との交流 5年生と幼稚園の交流 ・ 青和の宝 「あいさつ運動」を中心とした規範意識の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ● 児童会活動と連動した心からのあいさつの徹底 ● 人との出会いを重視した体験活動
体	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体力向上推進プランに基づいた継続的な取組 ドッジボール大会 なわとび集会 健康マラソン ・ 体育授業の充実 ・ 体カテスト支援授業による中学校教員との合同学習の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ● 小中一貫教育に結びつく学習支援活動の実施 ● 模擬授業実施及びHPを利用した学習支援
夢 誇	<ul style="list-style-type: none"> ・ あこがれられる高学年指導 ・開かれた学校づくりの推進 魅力ある地域・学校づくり 地域の力による学習支援 安全確保支援 学校環境支援青和地区教員会 青和地区防災訓練 産土の森ふれあいウォーク 	<ul style="list-style-type: none"> ● ホームページの更新・充実 目標アクセス2万件 ● 学校だよりの発行による広報活動

【青和小学校 学校ビジョンより】



【杉岡校長】

- ・とにかく教員とよく話し、思いを共有しようと努めています。
- ・昨年度のビジョンの反省に立って、今年度のビジョンを作成しています。

【澤田校長】

- ・具体的な行動目標を設置し、達成度を確認しています。
- ・奈良市の教育ビジョンや事業・施策に対応した形で学校ビジョンを作成しています。



学校ビジョンを実践する上で、教職員と何度も熟議をすることはとても大事なことです。熟議を重ねることで、学校園が目指す方向性を全員で共有することができます。また、保護者と熟議することで協力を得ることもできます。目標・手立て・評価の指標を学校ビジョンの骨格としながら、校園長先生方が目指そうとしている学校園づくりに邁進してください。

奈良を深く知る

今日は校園長先生方にもう1つ話をします。私は校園長先生はじめ教職員に、奈良のことを深く知る努力をしてくださいと機会あるごとにお願ひしてきました。これまでに、市教委として修二会の見学、能の鑑賞、興福寺の阿修羅像や唐招提寺の観月会などの研修を実施してきました。私は、まず校園長先生自身が奈良のよさを深く知り、その感動を自分の言葉で職員や子どもたちに語ってほしいと思っています。



今年は鑑真和上の1250年忌に当たり、鑑真和上坐像の模造である「お身代わり像」が美術院国宝修理所によって制作されました。このことは、新聞にも報道されましたので、ご存知の校園長先生もおられると思います。

この「お身代わり像」は、単に原型を真似るというだけでなく、材料や顔料、技術までも当時のまま復元されています。完成した像を見られた唐招提寺の石田智圓（ちえん）長老は、



国宝 鑑真和上坐像

「坐像は1250年前に若返られて、まるで湯上りのようだ。」

と話されています。また今回の調査から、坐像の制作には熟練した職人ではなく、弟子によって制作された可能性が高いことが改めて確認されました。石田長老は、

「弟子たちの芸術的才能に鑑真和上を思う心が伝わり、すばらしいお像ができたのでしょうか。」

と1250年前を振り返っておられます。制作に携わった美術院国宝修理所の木下成通研究部長は、

「専門の職人に注文したのではなく、伝承通り、鑑真和上の姿を懸命に写し取ろうとしたのだらう。奈良時代の他の乾漆像と異なり、造形テク

ニックを度外視したすごさがある。美術院がもっている技術と技法をすべて注ぎ込んだ。制作の終盤は鑑真和上の弟子になった思いだった。」

と語っておられます。

来月の6日に行われる唐招提寺での現地研修では木下氏を迎え、本物の鑑真和上坐像を調査して気付いたこと、制作に込めた思いなどを語っていただきます。鑑真和上の弟子たちがどんなことを思って鑑真和上坐像を作ろうとしたのか、また、平成の「お身代わり像」を作った人がどんな思いをもってこの像を作ったのかを聞いて、その感動を職員や子どもたちに自分の言葉で伝えてほしいと思っています。

(写真提供：唐招提寺／奈良市観光協会)

(写真提供：唐招提寺／入江泰吉記念奈良市写真美術館)